

技術・家庭科 《第3学年技術分野》年間指導計画・評価計画

杉並区立杉森中学校

技術・家庭科 目標

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

技術分野の目標

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

(例) 知は、知識、技能 思は、思考、表現、判断 主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準		評価の方法	小学校との 関連
4 5 6 7 9 10 11	D情報に関する技術 プログラムによる計測・制御 <14時間> ○簡単なプログラムの作成	著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えることができる。 情報に関する技術の適切な評価・活用ができる。	情報を扱う際のルールやマナーなどのモラルの必要性を知る。 人権や個人情報を保護するためのルールや利用のしかたについて考える。知的財産を保護する利用のしかたを考える。	主	・計測・制御システムにおける構成や、その中でのプログラムによる情報の処理についての知識を身に付けている	授業監察 ワークシート	小学校でのプログラム教育
				知	計測・制御システムにおける構成や、その中でのプログラムによる情報の処理についての知識を身に付けている。 計測・制御システムにおけるインタフェースの必要性についての知識を身に付けている	定期考査 ワークシート	
				思	計測・制御の目的や条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから情報処理の手順を変更した場合の効果を比較・検討した上で、計測・制御に適した情報処理の手順を決定している。	ワークシート 製作品	
				知	設計に基づき、簡単な計測・制御のプログラムを作成できる。	ワークシート 製作品	

12 1 2 3	A 材料と加工に関する技術	材料の特徴と利用方法を知ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・製作の進め方を理解する。 ・正確にけがきができる。 ・正確に切断ができる。 ・仕上がり寸法線まで金属をける技術を理解し、正確にけることができる。 ・正確に穴をあけることができる。 ・接合の方法と順序を確認し、製作品の表面や角を仕上げる技術を知り、正確に仕上げができる。 	国	省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。	授業監察 プリント	図画工作5年生 実習例「自由に切った形から発想したものや用途を考えたものを作る。」などでの使用する工具や加工法との関連
	金属の加工 キーホルダーの製作 ＜4 時間＞	材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できる。		思	製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから材料、用途及び丈夫さなどを比較・検討した上で、製作品やその構成部品の適切な形状と寸法などを決定している。	授業監察 製作図 作品点検 定期考査	
	○部品表と工程表	材料と加工に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。		知	製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立て・接合、仕上げができる。	授業監察 製作図 作品点検	
	○けがき	使用目的や使用条件に即した機能と構造について考えることができる。		知	製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。	定期考査 ノート	
	○切断・切削	部品加工、組立て及び仕上げができること。					
	○穴あけ						
	○部品の修正と検査 ○組立てと仕上げ						